

# 日野太郎の How to エコドライブ!



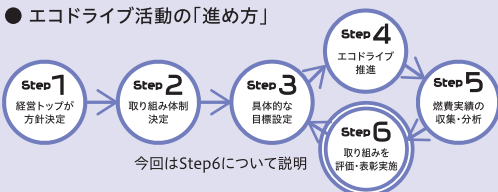
今回は、エコドライブにつながる「空ぶかしの抑制」と「アイドリングストップ」、そして日野プロフィアハイブリッドの特長を紹介します。



穏やかな運転に徹するエコドライブは、エンジンの傷み軽減、タイヤ、ブレーキライニング、オイルなどの消耗も抑えることができます。そしてエコドライブ活動においては、優秀な実績のドライバーを評価することで、本人のさらなる取り組み意欲の向上につながります。

## ● エコドライブ活動の「効果」：車両や部品の「耐久年数向上」に貢献

## ● エコドライブ活動の「進め方」



出典：公益社団法人 全日本トラック協会「エコドライブ推進マニュアル」

### Step6

## 「評価・表彰」で ドライバーのモチベーション向上

ドライバーの努力を評価することは、やりがいや目的意識を高めます。ただし活動を数年間継続すると改善の余地が小さくなるので、状況に合わせて評価基準を見直し、モチベーション維持に努めましょう。

## 実践エコドライブ 「空ぶかしの抑制」

### クセひとつで燃料を無駄に消費!

トラックは1回の空ぶかしで、「大型車なら10～12cc」、「中型車で5～7cc」の燃料を無駄づかいしています。空ぶかしは、ドライバー個人のクセともいわれますので、管理者が「日常的に空ぶかしをしない」よう注意を繰り返すことが大切です。



空ぶかしも積み重なれば  
多くの燃料を無駄づかい!

### アイドリングストップはマナー 「アイドリングは必要最小限に」

アイドリングは、燃料を無駄に消費するばかりでなく、NOxやPMなどの大気汚染物質をより多く排出することになります。市街地では近隣住民に騒音、臭気、振動などの公害を招きます。アイドリングは、常に必要最小限になるよう心がけましょう。



出典：公益社団法人 全日本トラック協会「エコドライブ推進マニュアル」

### エコドライブを支える



日野プロフィア クールハイブリッドは、再生エネルギーを活用して電動コンプレッサーを駆動し、エンジン停止時でも一定時間の冷凍・冷蔵を可能にします。従来の「エンジン直結式」の経済性・静粛性と「サブエンジン式」の冷凍性能・安定性を併せ持ち、メンテナンスの手間や燃料費の軽減に貢献します。

## 走行で生まれる電力を冷凍・冷蔵にも活用した電動冷凍車

- ポイント 01** 休憩、荷待ちでもアイドリング不要  
ハイブリッドバッテリーがエンジン停止時に一定時間冷却
- ポイント 02** クールダウン性能がさらに向上  
予冷時間の短縮で、事前準備の手間を短縮
- ポイント 03** 配管なし、ベルトなしのシンプルな冷凍システム  
メンテナンス経費を削減

詳しくは [Q 日野プロフィア ハイブリッド](#)